

ガラスのヒール

佐谷戸明穂

リクルートスーツを身にまとい、ヒールを履き、とあるオフィス街を闊歩する

このコツコツって音なんだか好きなんです 強くなれた気がするから
昔の弱くて甘ったれた自分と決別できた気がするから

スーツはかっこよくて、どんな不安からも私を守ってくれる

私を見る眼差しが眩しい 私ってそんなにかっこよかったかしら？

でもそれはみせかけ、私の心にはまだまだ子どもの私が住んでいる

昨日、電車の中で足をつついてきた赤ちゃんが、仲間を見つけたかのように
話しかけてきたことを思い出した

私もそのまま電車に揺られたかったな お母さんの腕の中で眠りにつくよう
に

大人が言う事は矛盾ばかりで辟易してしまうけれど、自分の純粋な気持ちは
大切にしたい

目の前に困っている人がいたら私は助けたい 繊細なものはそっと丁寧に扱
いたい

これから生きていく世の中がこんなに大変なら、あの世に出かけても良いか
な、なんて

私、何がしたかったんだっけ

社会に認められるには、いくらかの犠牲が必要と気づいてから、道が見えな
くなりました

犠牲の上に成り立つものは何でしょうか